

## 花筏

☆今日も雨そして寒く  
遅れた桜すぐ散った  
せめてもの花筏（はないかだ）  
岸边にあるはずが雨に流れゆく☆☆

知る人も少ない恩田川  
人混みもなくてゆっくり歩ける  
雨上がりねらって二人出かける  
熱いペットボトル自販機で買って

春の嵐は無情で意地悪  
かなり散った川にも残らない  
それでも木の下には  
まだたくさんの花びら  
まるで綺麗なじゅうたん  
雨水と共に光る

☆～☆☆

あきらめていた満開は  
見ることできない思ってたけれど  
それでも川に向けて垂れ下がる  
桜のトンネル 葉桜でも見事

花の時期は突然で短く  
そのやるせなさ そして儚さ  
まるで人生の移ろい  
そうこの一瞬を  
かみしめて踏みしめて  
大切に歩んでいきたい

☆～☆☆